

**B—84 1961年から1966年への被服デザインの歩
み (Japan Times に紹介されたものか
ら)**

大阪市大家政 林田喜美子

1. 本研究は1961年から1966年までの間の各国の被服デザインの歩みを捉えて、その変化を観察し、被服デザインおよび被服工作の研究に資したいと考えたものである。

2. 資料は Japan Times に掲載された世界の流行の紹介を蒐集したもので、内外人に読者層を持つ同紙はその年のユニークな作品はほとんど忠実にのせているので研究しやすい。5年間に抜粋した作品数は893枚でカラーも多い。

3. その成果は5年間の被服デザインの推移をまざまざと感じさせられ、衣生活の変化、時代の変化、また、一般デザインの流れも理解された。そしてこれらは住生活環境や社会的背景の変化、経済的基盤や被服産業の変化、女性美の変化や美意識の移行にも裏付けされていることを理解することができた。